

「落語」 でつながる地域の和ッ！！

千葉市中央区地域活性化支援事業、三年継続事業一年目

団体	落語研究会縁
代表	千葉家李桜(ちばやりおう)

☆目的

日本の文化《着物、落語の古典芸能》を身近に感じてもらい文化の継承をめざしたい。

<2022年 事業内容>

- ・登戸小学校 実施生徒数 75名
- ・大森小学校 実施生徒数 530名
- ・生浜東小学校 実施生徒数 52名
- ・院内小学校 実施生徒数 107名
- ・仁戸名小学校 実施生徒数 68名

☆事業の成果

★当初の予定では、三校の落語体験と実演でしたが、
八回で五小学校の実施となりました。良い結果がだせたと思います。
また先生や校長先生も参加しての高座体験は大盛況でした。

★生徒や先生の感想

先生「普段は引っ込み思案の子供たちが。羽織りを着て生き生きと
自己PRをされていてびっくりしました。」

生徒「先生や校長先生の姿がいつもと違っていて楽しかった。」

生徒「落語ってつまらないと思ったけどおもしろかった」

☆落語、着物、高座体験の内容

①落語のいろは

落語についての基本的な事柄の説明

座布団の置く方向、めくり。

めくり台、寄席文字について

落語の小道具

扇子、手ぬぐいを使っての所作、

問題

>なにを食べているのでしょうか？



高座について、例題を演ずる

出囃子とともに高座にのる。

お辞儀



口上「名前を言う」



いま好きなこと、食べ物、夢中になっていること、失敗したこと



お辞儀

②着物の説明、羽織りの説明

羽織り着用での高座体験

まず先生から高座体験してもらおう。

そして生徒へ

新しいめくり台を使用

(同時間にニクラス開催時に対応)



先生も高座へ



羽織りを二枚使用して、順番に高座にあがります。

③落語実演



★活動のためにしたこと

- ① 中央区の全小学校へ六月から内容を書いた手紙を送付。
(返信用封筒をいれたが、19校のうちに2校返事があるだけ)
お断りの返事。他からは返事なし。
- ② 夏休み明けをまって、各校に電話をいれて説明。
- ③ 詳しいことを聞きたい、という学校に資料送付。
- ④ 打ち合わせや説明をききたい、という学校を訪問。
- ⑤ 各学校ごとに開催日時を決める。
- ⑥ 開催実行。

★展開や取組みについて

- ① 今後の展開は、高座のときの演目標を生徒ひとりずつに自宅にもっていってもらい、そこに「落語研究会縁」のホームページをいれて検索してもらう。
- ② 今回もそうでしたが、ご飯時に話をするらしくほかの学校の先生から問い合わせがありました。「ロコミ」も大事でした。生徒さんたちからの感想もたくさん文章でいただきました。大きくなったときに、ふっとその日に笑った記憶がすこしでも残っていたら、と思います。
- ③ 協力してくれたのは各小学校の教務主任さんや副校長先生、でした。3月に担任、4月からまた新教務主任、新副校長、となることもあるのでまた3月から準備して4月からすぐ動けるようにしていくつもりです。